

株式会社 ハマイ

会社概要及び
2006年12月期決算説明
2007年3月



LPガス容器用バルブのトップメーカー

HAMAI



目次

1. **会社概要と業界環境**
2. **経営方針**
3. **2006年12月期決算の概要**
4. **2007年12月期決算の見通し**

(1) 会社概要と沿革

会社概要

商号 株式会社ハマイ
 HAMAI INDUSTRIES LTD.
本社 東京都品川区
代表者 代表取締役社長 浜井 三郎
創業 1927年(昭和2年)2月1日
資本金 3億9530万円
従業員 209名
売上高 96億9200万円

事業内容 1. 各種弁類の製造及び販売
 2. 高圧ガス関連機器の製造及び販売
 3. 不動産の賃貸
 4. コンピューター関連機器等の販売

連結子会社 子会社 2社
 関連会社 3社
 (2006年12月期)

沿革

1927年2月 故浜井栄会長がガス溶断機の製造を目的に浜井製作所創業
 1953年8月 LP容器用バルブの製造を開始
 1960年11月 府中市に府中工場を新設
 1972年2月 日本証券業協会に店頭登録
 1974年5月 千葉県に大多喜工場を新設
 1989年6月 大多喜工場に容器用弁新設工場完成
 1993年4月 株式会社ハマイに社名を変更
 1996年10月 府中工場新設
 2004年12月 JASDAQ市場に上場

(2) 事業内容

■ バルブ事業

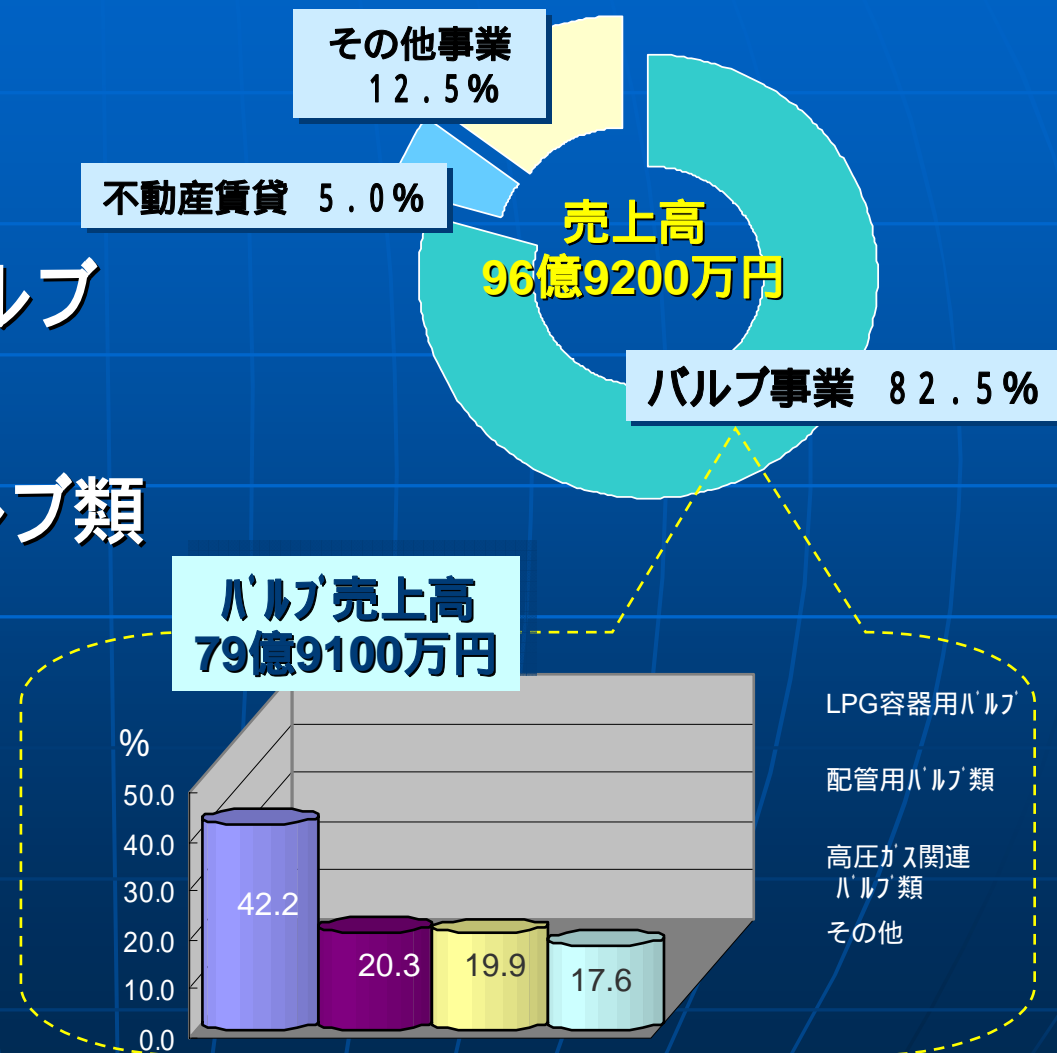
LPガス容器用バルブ
配管用バルブ類
高圧ガス関連バルブ類
その他

■ 不動産賃貸事業

■ その他事業

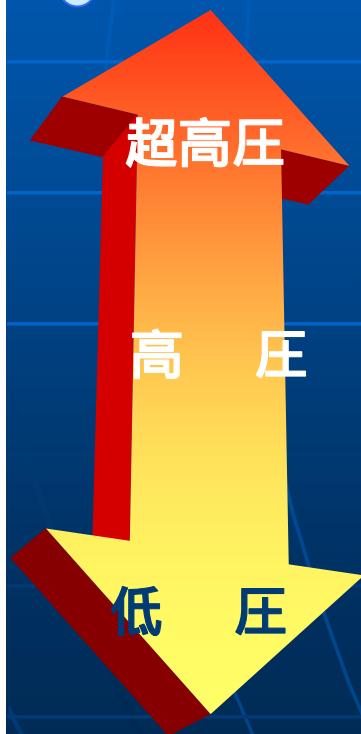
…コンピューター関連機器等
の販売(子会社)

【2006年12月期 事業別売上構成】



(3) バルブ事業の特徴

『高圧ガス保安法』に基づき
法規制・許認可・資格など厳しい管理が必要



高圧ガスバルブ類



配管用バルブ類



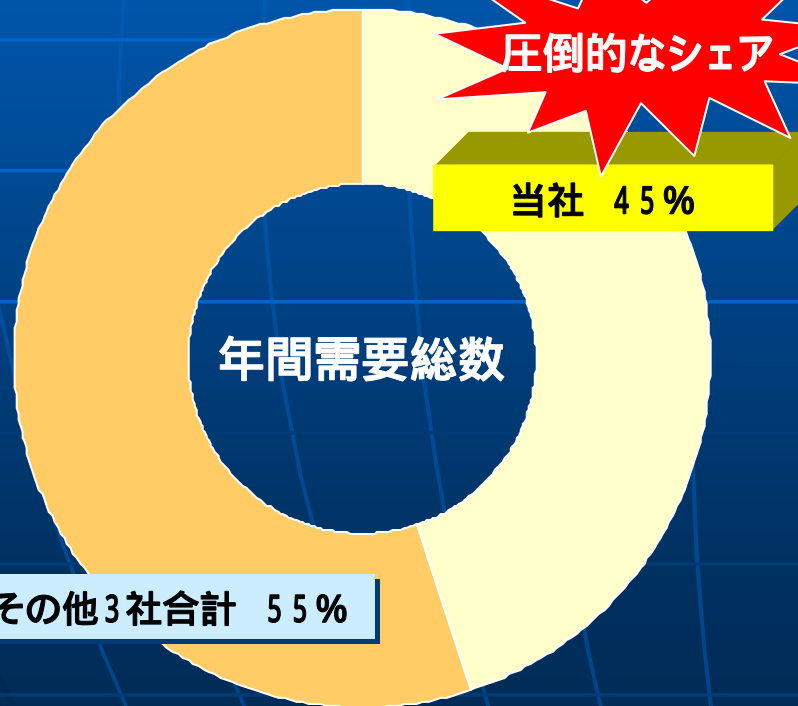
LPガス容器用バルブ



(4) 当社の特徴

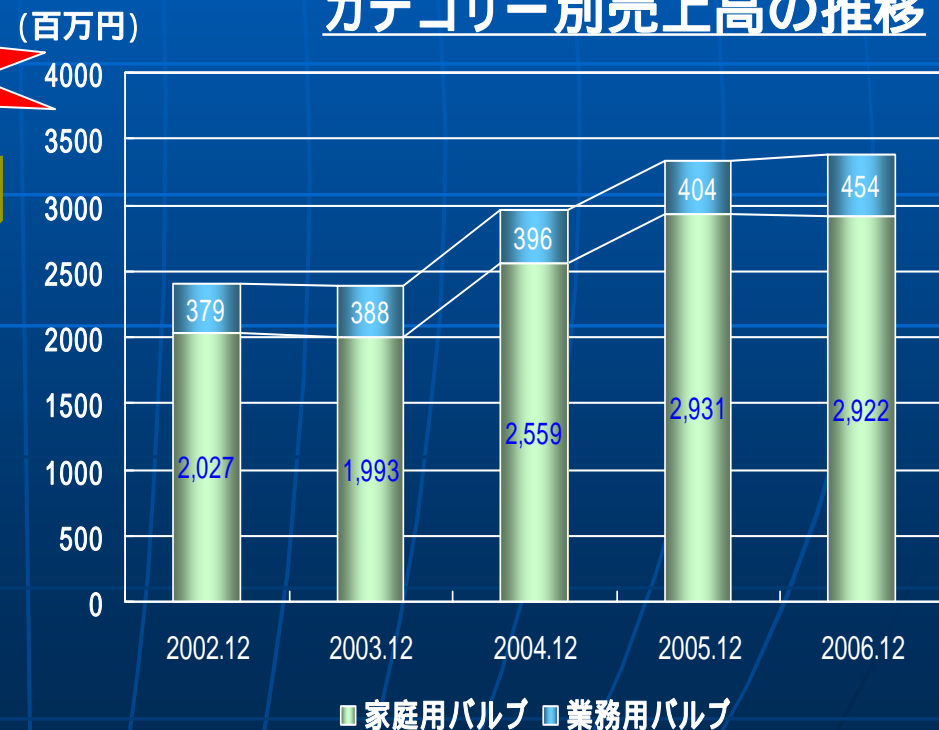
LPガス容器用バルブの国内最大手

LPガスの年間需要総数



LPガス容器用バルブ

カテゴリー別売上高の推移



(4) 当社の特徴

効率的な生産体制と徹底した品質重視経営

顧客ニーズにあった、早くて、安価で、高品質な製品を作ることができる体制

量産品

素材搬入から製品出荷までを全自動化

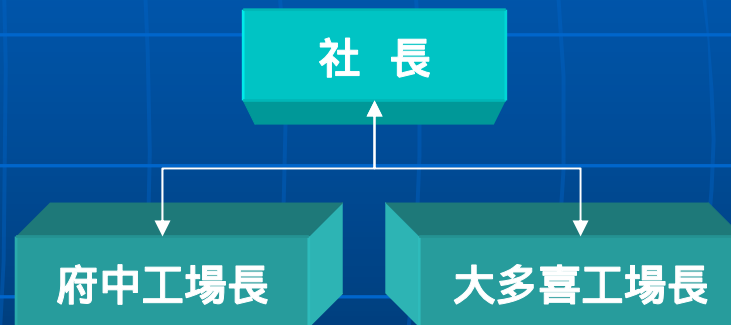


少量多品種製品

最新鋭複合工作機械を導入し24時間無人稼働



『品質管理委員会』を毎月実施



ISO認証取得への取組み

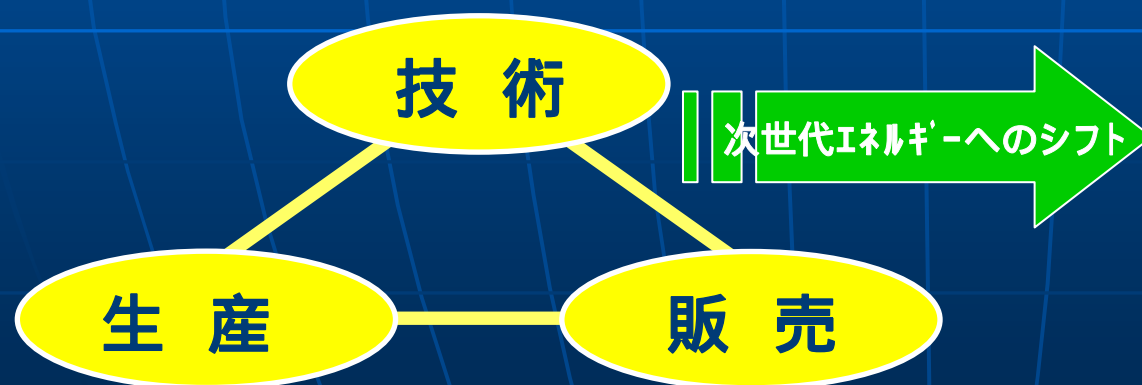
	ISO9001	ISO14001
府中工場		
大多喜工場		

(4) 当社の特徴

永年の経験とノウハウの蓄積で
培った高い技術開発力

技術・生産・販売の一体化により
顧客ニーズに合った技術開発を実現

燃料電池自動車向け水素タンク用バルブ
の大手自動車メーカーとの共同開発



- ・地球温暖化対策に伴う環境への配慮
- ・エネルギー安全保障の面
- ・水素を扱うにあたり超高圧に耐えうるバルブ開発への着手

(4) 当社の特徴

永年の経験とノウハウの蓄積で
培った高い技術開発力

顧客ニーズを意識した安全かつ安心で幅広い活用力を
有した新バルブへのアプローチ



レッド = OPEN

ホワイト = CLOSE

開閉が一目で
分かりポリカ
ーボネート
を使用して
おり
耐久性にも優
れる

低公害、低有害
物質を使用した
エコロジカル
バルブ

ポイント

有害物質を極力低減した真鍮材料を全ての金属部分に採用。
また、低融点合金に従来含有されるカドミウム、鉛を一切含まないものを採用。

(5) 業界環境

原材料価格の上昇が業界に与える影響

インフラ建設ラッシュが続く中国とアジアの
需要増加が.....

↓ 一方で...

配管用バルブ部門、高圧ガスバルブ及び
ガス関連設備機器部門が好調に推移

主材料の黄銅材の価格上昇

国内設備投資に明るい兆し

規制緩和による法定バルブ 交換期間延長の影響

新分野開発
の必要性

プロパンバルブの大型化

主力商品の拡販

新規開発商品の販売化

LPガス容器用バルブ

～主力製品群～



家庭用プロパンガス



業務用LPガス



LPガス自動車(タクシー)



特 徴

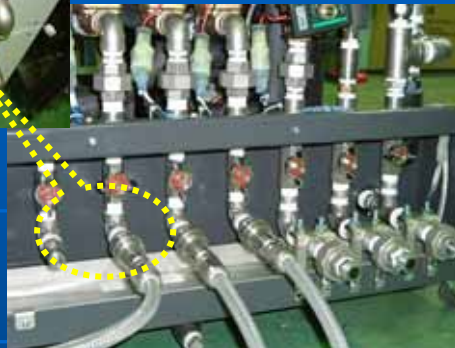
- 日本の世帯数の半数以上で使用される
- LPガスはクリーンエネルギー
- 持ち運びができ災害に強い
- 安定した需要が見込める

配管用バルブ類

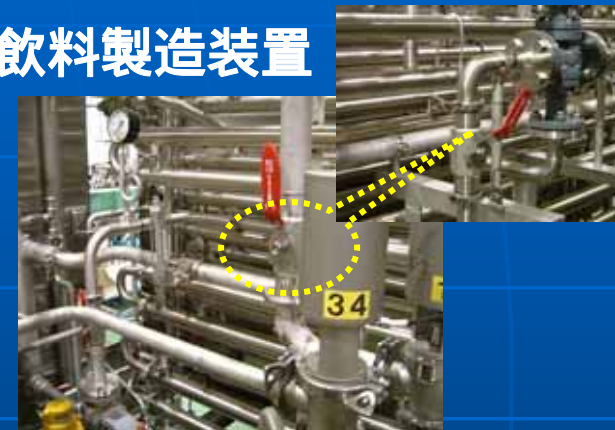
～ 主力製品群 ～



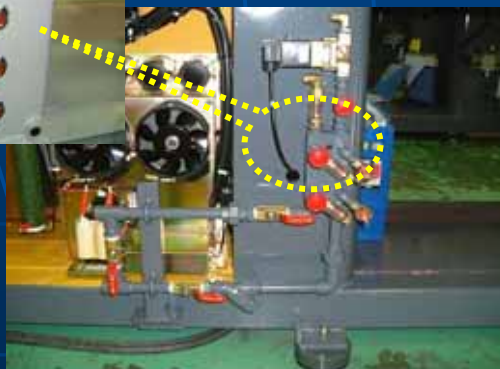
半導体製造装置



乳飲料製造装置



プラスチック成形機



特 徴

- 配管用のバルブ
- 近年半導体製造装置用バルブが伸びる
- 少量多品種

高圧ガスバルブ類

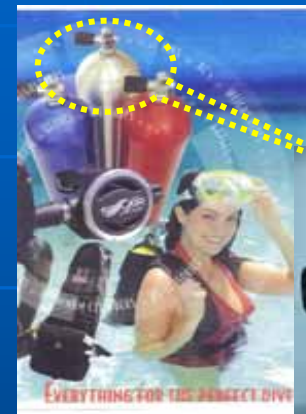
～ 主力製品群 ～



医療用



半導体



ダイビング



自動車



特 徴

- 超高圧ガスへの対応が急務
- 燃料電池用水素タンクバルブなど
- 医療、防災向けも今後伸びる傾向
- 少量多品種

目次

1. 会社概要と業界環境
2. 経営方針
3. 2006年12月期決算の概要
4. 2007年12月期決算の見通し

経営方針について

開示経営、環境経営、
そして「企業の社会的責任」を意識した経営

- 徹底した品質・コスト管理及び
見える経営の推進による利益意識の共有化
 - 5Sの徹底と実施(品質向上)
 - コスト管理の徹底(原価低減)
 - 収益のある経営(社会的責任)
- 技術開発力による強化
- 業績に連動した配当政策

目次

1. 会社概要と業界環境
2. 経営方針
3. 2006年12月期決算の概要
4. 2007年12月期決算の見通し

2006年12月期連結決算のハイライト

(単位:百万円)

	2005年12月期			2006年12月期					
	通 期 実 績			通 期 実 績			通 期 計 画		達成率 (%)
	金額	構成比 (%)	前年同期比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比 (%)	金額	構成比 (%)	
売上高	8,648	100.0	4.0	9,692	100.0	12.1	9,800	100.0	98.8
売上原価	6,550	75.7	7.0	7,800	80.5	19.1	7,526	76.8	103.6
売上総利益	2,098	24.3	4.1	1,892	19.5	9.8	2,273	23.2	83.2
営業利益	1,093	12.6	11.7	838	8.6	23.3	1,198	12.2	69.9
経常利益	1,182	13.7	9.4	942	9.7	20.3	1,296	13.2	72.7
当期純利益	718	8.3	3.7	552	5.7	23.0	760	7.8	72.6

当社製品の主材料である黄銅材の価格高騰の影響により、黄銅削り粉の販売単価が値上がりしたため、売上増一方収益面に関しては、材料費の値上がりにより原価が上昇したため、減益となりました。

売上高・営業利益・経常利益及び純利益の推移

(百万円)

(百万円)

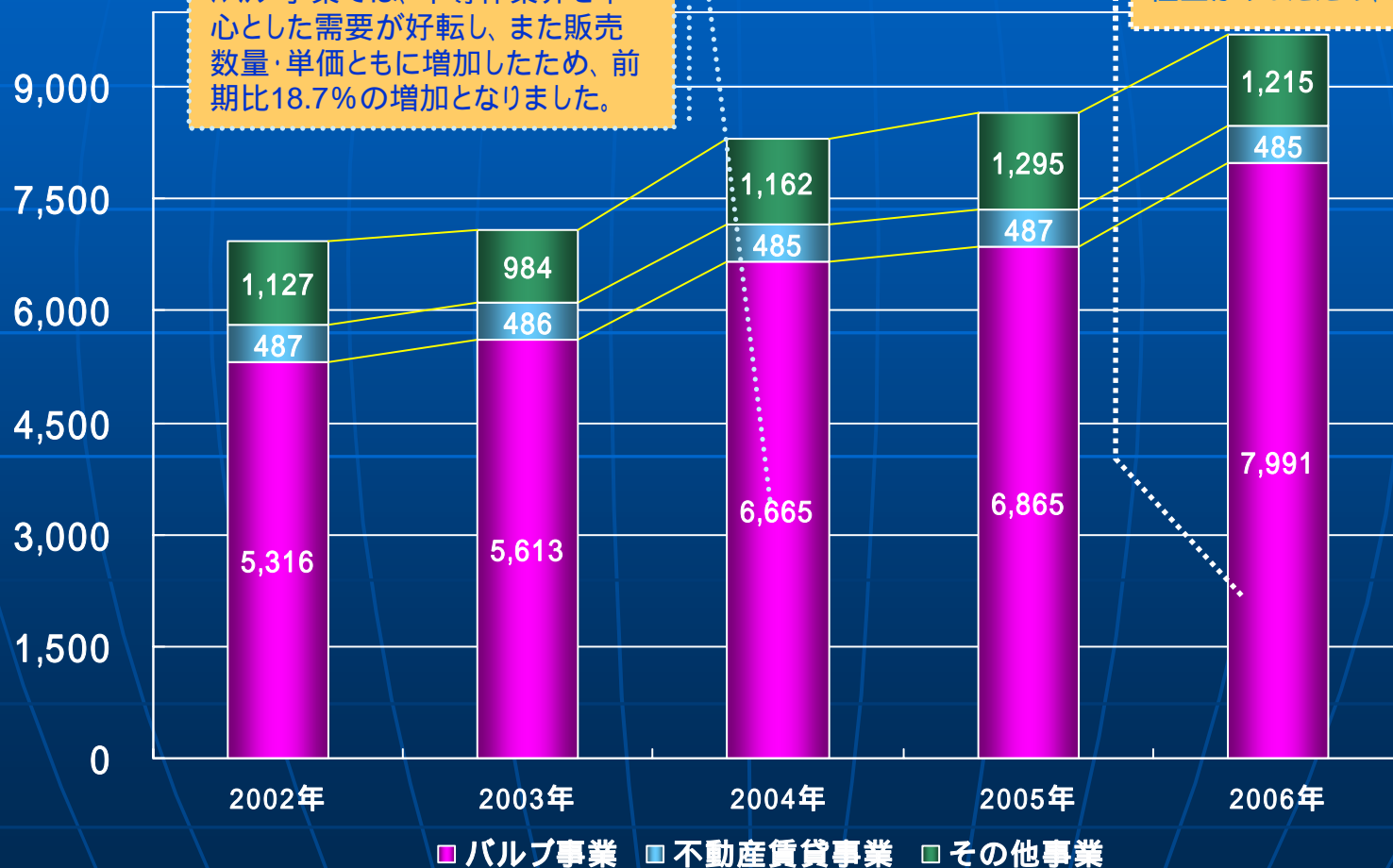


セグメント別売上高の推移

(百万円)

パルプ事業では、半導体業界を中心とした需要が好転し、また販売数量・単価ともに増加したため、前期比18.7%の増加となりました。

設備投資関連・半導体関連業界が好調に推移し、また当社製品の主材料黄銅材の価格高騰の影響により黄銅屑削り粉の販売単価が値上がりしたため、売上増加

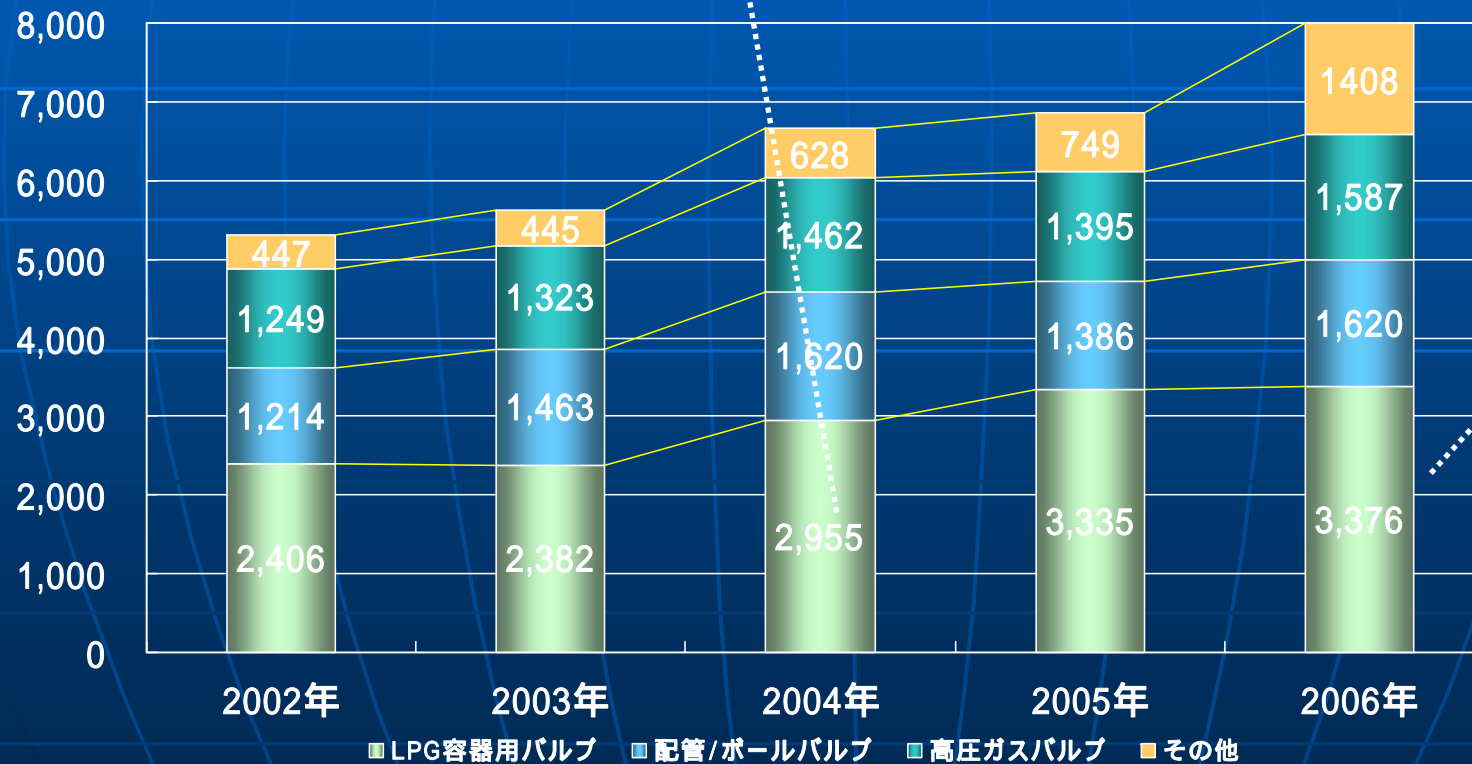


カテゴリー別バルブ売上高の推移

LPG容器用バルブは数量・単価ともに増加、半導体関連も好調に推移したため売上増加

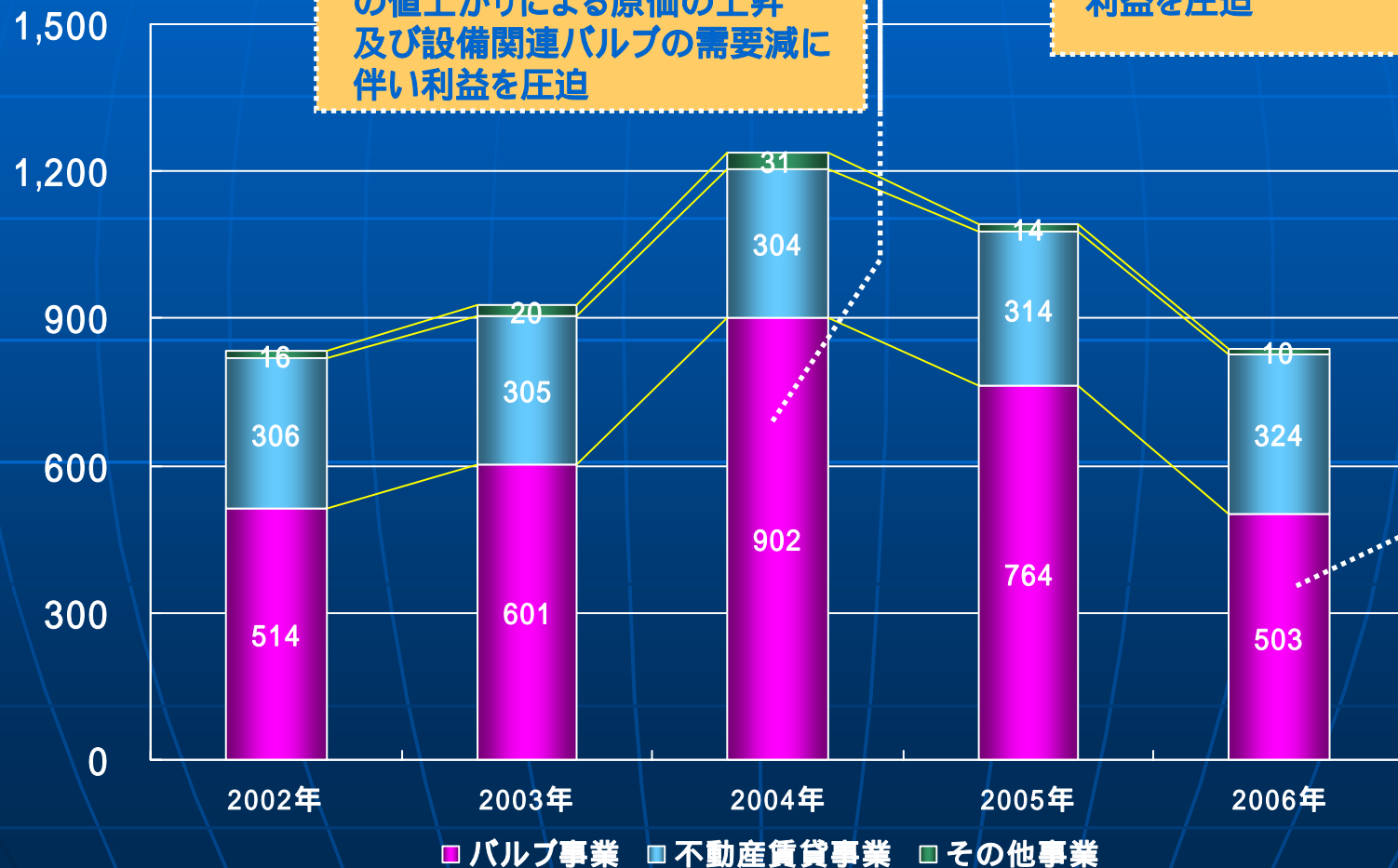
主材料である黄銅材の価格高騰に伴い行った価格転嫁が思うように推移せず売上は微増

(百万円)



セグメント別営業利益の推移

(百万円)



パルプの主材料である黄銅材の値上がりによる原価の上昇及び設備関連パルプの需要減に伴い利益を圧迫

材料価格が予想以上に高騰し、原価率が上昇したため、利益を圧迫

目次

1. 会社概要と業界環境
2. 経営方針
3. 2006年12月期決算の概要
4. 2007年12月期決算の見通し

2007年12月期連結決算の見通し

(単位:百万円)

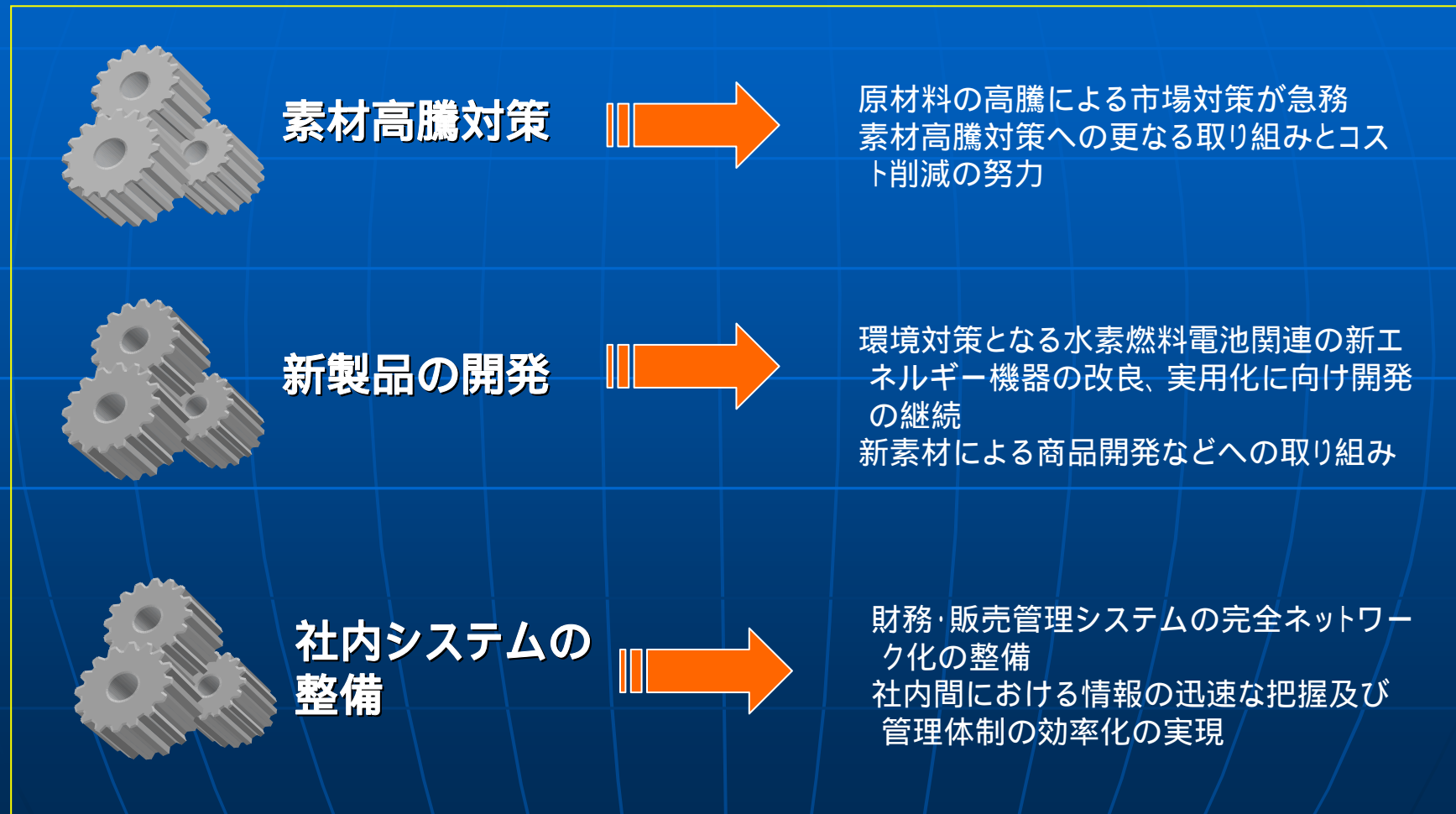
	2006年12月期(実績)			2007年12月期(予想)		
		構成比 (%)	前期比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	9,692	100.0	12.1	8,346	100.0	13.9
売上原価	7,800	80.5	19.1	6,550	78.5	16.0
売上総利益	1,892	19.5	9.8	1,796	21.5	5.1
販管費	1,053	10.9	3.7	1,023	12.3	2.8
営業利益	838	8.6	23.3	773	9.2	7.8
経常利益	942	9.7	20.3	810	9.7	14.0
設備投資	448			350		
減価償却	416			380		

セグメント別売上高見通し

(単位:百万円)

	2006年12月期(実績)			2007年12月期(予想)		
		構成比 (%)	前期比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
バルブ事業	7,991	82.5	16.4	6,884	82.5	13.9
LPガス容器用バルブ	3,376	34.8	1.2	2,409	28.9	28.6
配管用バルブ	1,620	16.7	16.1	1,650	19.8	1.9
高圧ガス容器用バルブ	1,587	16.5	14.5	1,720	20.6	8.4
その他	1,408	14.5	88.0	1,105	13.2	21.5
不動産賃貸事業	485	5.0	0.4	486	5.8	0.2
その他の事業	1,215	12.5	6.2	976	11.7	19.7
合計	9,692	100.0	12.1	8,346	100.0	13.9

計画数値達成のための戦略



ありがとうございました。

IRに関するお問合せ先

株式会社ハマイ 広報・IR室

IR担当役員

取締役管理本部長 広報・IR室長 入江 万峯

IR事務連絡責任者

管理本部 次長 IR担当 志村 孝男

将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また将来における当社の業績が、現在の当社将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。